

第3回専門部会における意見への対応一覧(活力あるいばらきづくり)

政策・施策	主な意見	対応
3 活力あるいばらきづくり	・主な取組について、先進的な取組など新たな内容を記述していくべき	・資料3-4で新規の取組みを明示いたしました。
(1) 日本や世界をリードする科学技術創造立県の実現	・『日本や世界の発展に寄与する科学技術創造立県の推進』について、「リードする」といった前向きな表現がよい ・他の政策の結びは”づくり”だが、”推進”の結びでよいか	・「発展に寄与する」を「リードする」、「推進」より前向きな表現として「実現」と修正しました
① 研究開発の推進と研究成果の社会還元	・市場創出・人間発想を起点とする新たな科学技術振興の視点が必要	・産業利用だけでなく、人々の生活の質の向上につながる科学技術の活用との視点で「社会還元」という表現としました。 ・取組5に人々の生活の質の向上につながる研究開発の推進の視点で趣旨を反映させました。
② 未来の科学技術を拓く環境づくり	・『科学技術を担う地域社会の形成』では具体的な取組がイメージがしにくい	・具体イメージがわかるような表現として『未来の科学技術を拓く環境づくり』に修正しました
(2) 国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり	・『国内外の競争に打ち勝つ力強い産業の育成』について、「競争に打ち勝つ」との表現に対し協働・コラボレーションの視点も必要	・第2回専門部会で「今後の日本を考えるともっと危機感のあるものにすべき」との意見もあり、特に活力では前向きな表現としたいため原案のとおりとしました。 ・各施策の取組に産学連携による成長分野産業の育成や中小企業間の連携による経営資源集約化、農工商連携などの産業分野間の連携といった視点で趣旨を反映させました。
	・他の政策の結びは”づくり”だが、”育成”の結びでよいか	・育成については、”づくり”に修正しました
① 産業拠点の競争力向上と企業立地の促進		
② 競争力あるものづくり産業の育成	・「いばらき成長産業振興協議会」での取組は、産学連携や成長性のある4分野の施策展開を図るなど、非常に魅力的な施策でありより強く打ち出すべき	・成長分野産業は重要なテーマでありプロジェクトの施策に位置づけました ・施策名は、成長分野以外のものづくり産業分野に関する取組も位置づけていきたいため、原案のとおりといたしました
	・環境技術、水ビジネス、社会資本のメンテナンス技術や都市開発技術などをアジアとのビジネスにつなげていくことが必要	取組4に企業の海外展開への支援との視点で趣旨を反映させました。
	・食品産業についても、海外へ売り出していくことが必要 ・企業OBの力を取り入れて事業を展開していくことが重要	・取組3に企業OB等の活用も想定したテクノエキスパートやビジネスコーディネーター等による事業展開を位置づけました。
③ 生活を豊かにする商業・サービス産業の育成	・ソーシャルビジネス、社会起業家の育成・支援が重要	・取組1に位置付けました
	・中心市街地の活性化は、商工政策だけではなく、文教政策をはじめ、歴史・文化、人口、情報など街の中心性を復活させるための総合的な取り組みが必要	・主な取組については、商工政策に限定されないような表現に留意するとともに、総合的な取り組みとして、住みよいいばらきづくりの(4)人にやさしい良好な生活環境づくり ①やさしさが感じられるまちづくりの取組に、集約型土地利用のまちづくりを位置づけています。
④ 地場産業・特産品の育成		
⑤ 経営革新の促進と経営基盤の強化	・「オープンイノベーション」に関する取組が必要	・取組3に「多様な知識や経営資源の集約化」の視点で趣旨を反映させました。
⑥ 産業を担う人づくり	女性や高齢者等の人材育成の視点が必要 雇用・就業環境と統合してはどうか	・取組5に女性や高齢者等の人材育成を追加しました。
⑦ 雇用・就業環境の整備		

政策・施策	主な意見	対応
(3)日本の食を支える食料供給基地づくり		
①農業生産を支える基盤づくり	・科学技術を活用した品質向上の取組、後継者問題が重要なテーマ。	・取組1に、多様な経営体の育成確保の支援の視点で趣旨を反映させました。 ・取組8に、新品種・新技術の開発普及の視点で趣旨を反映させました。
②高品質で商品価値の高い農産物づくりと販売力の強化	・世界に向けた販路拡大への可能性が重要なテーマ。 ・マーケットとつながるサプライチェーンを形成し、様々な業種と連携しシステムとして売り込むことが成長につながる。	・取組3に、新規の市場開拓、他産業との連携による販路拡大の視点で趣旨を反映させました。
③消費者との信頼関係の構築		
④林業・木材産業の活性化	・林業については、環境づくりの視点から住みよしいばらきづくりに位置づけられているが、首都圏との近接性など茨城林業のポテンシャルが高いといった第2回専門部会での意見も踏まえ、活力あるいばらきづくりにおいても、施策に林業を位置付けるべき。	・「林業・木材産業の活性化」として施策を追加しました
⑤消費者ニーズに応える高品質な水産物供給体制の構築		
⑥農山漁村の活性化		
(4)人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり	・ブランド・情報発信力の強化・イメージアップが重要 ・東アジアを中心とした海外活力の導入などが重要	・イメージアップの視点でプロジェクトに位置づけました ・東アジアなどの海外展開の視点でプロジェクトに位置づけました
①魅力ある観光の推進	・医療観光(メディカルツーリズム)など、医療や介護・福祉との連携が重要	・取組7に「メディカルツーリズム」を位置づけました。
②個性を活かした魅力的な地域づくりの推進	生活スタイルとしては、海あり山ありという広いステージをイメージすることになり、茨城全体のイメージアップにつながりやすい。「つくば」と「さとやま生活」は、東京にも地方にも存在しない茨城固有のものであり、活用すべき。	・取組1、取組6に「いばらきさとやま生活」「つくばスタイル」に関する取組を位置付けました。 ・取組10に、全体的なブランド・イメージアップに関する取組を位置づけました。
③多様な交流を支える広域交通ネットワークの充実		
④茨城空港の就航対策と利用促進		
⑤安全で利用しやすい港づくり		
⑥新たな物流体系形成の促進		
⑦ITを活用した情報交流社会づくり		